

## 【資料－1】

### 調査票記入要領

#### 1. 「放射性同位元素輸送実態調査票」

1核種および1輸送ごとに、1枚の調査票にご記入ください。調査票が複数枚必要な場合はコピーして使用してください。また、輸送件数が多い場合は、独自にまとめられた電子データ(エクセル表)でもかまいません。

ただし、個数を除く記載事項(核種・輸送物の種類・輸送物の用途・荷送人、荷受人、輸送手段の種別および発・着地の都道府県名)の全てが同じものについては、1枚の調査票に1年間の輸送合計数を記入してください。なお、往復の場合は、発・着地の都道府県名が変るため、片道分ずつ2枚に分けてご記入ください。

#### ○調査対象

- ・ 貴施設で手配されたもののみ調査対象となります。

例 貴施設の職員等が自家用車等で直接運搬したもの

貴施設にて輸送業者に直接運搬を委託したもの

注:線源引取などで相手先の事業所が手配した運搬は貴施設の調査対象には含まれません。(相手先の事業所より回答されます)

#### ○調査対象期間

- ・ 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの1年間の輸送実績  
輸送実績がない場合にも調査票の提出をお願いします。

#### ○記入要領

- ・ 「調査票提出機関・事業所名」(a.参照)、「認可番号」、「所在地」、「機関・事業所の種別」(e.参照)、「調査票記載者」及び「輸送実績」欄に必要事項を記入してください。
- ・ 輸送実績がない場合には「輸送実績なし」にチェックしていただき、アンケートにご協力の上、調査票を提出してください。
- ・ 輸送実績がある場合には「輸送実績あり」にチェックしていただき、調査事項、回答欄への記入、アンケートのご協力をお願いいたします。

##### a. 「調査票提出機関・事業所名」欄

社名のみでなく、事業所名(支店名、工場名等)までご記入ください。

例: ○○株式会社○○支店

□□電力株式会社□□発電所

##### b. 「核種」欄

元素名および質量数を「元素記号－質量数」の形式でご記入ください。

例: 「P-32」

1梱包に複数の核種を含む場合、複数核種の輸送物として核種を列記してください。

例: 「H-3、C-14」

c. 「輸送物の種類」欄

「主な放射性同位元素の数量の限度」【資料－2】を参照の上、L型輸送物、A型輸送物、B型輸送物のいずれかの区分を選択してください。

表示付認証機器を「放射性同位元素等の規制に関する法律」における「L型輸送物相当」として輸送した場合は、「L型輸送物相当」の区分を選択してください。L型輸送物相当として輸送を行った場合で、輸送の記録がなく、正確な回答が難しい場合は、その旨をご記載いただき、分かる範囲で記入してください。

d. 「輸送物の用途」欄

以下の例示を参照の上、輸送物の用途(利用方法)を選択もしくはご記入ください。

1. トレーサ利用…標識化合物等を調査・研究等に利用

2. 照射利用

2-①. 医療用…医療機器(診断用、治療用)

例:Ir-192等によるアフターローディング治療用線源

(注:医療機器の校正用線源は2-⑦に該当)

2-②. 研究照射用…研究用、農業用等

2-③. 工業照射用…放射線滅菌用、食品照射用等

2-④. 非破壊検査用…Ir-192等による非破壊検査

2-⑤. 工業計測用…厚さ計、レベル計、密度計、地下検層計、水分計等

2-⑥. 分析用…ECD、爆発物・毒物検出器、蛍光X線分析計、硫黄計等

2-⑦. 機器校正用…機器校正用の密封線源

例:PET校正用線源Ge-68 ラインソース、ファントムソース

2-⑧. 教育・研究用…実験等で利用する密封線源等

2-⑨. 煙感知器等民需品…コンシューマグッズ

2-⑩. その他( )…上記以外の用途(例:自発光蛍光塗料、製造用原料等)

e. 「荷送人の種別」、「荷受人の種別」欄

それぞれ当てはまる種別を選択してください。

なお、大学病院は、教育・研究機関に区分してください。

f. 「輸送手段の種別」欄

自動車のみで陸上輸送した場合は、「自動車のみによる輸送(1. ～3. )」より選択、

1. 自家用車直送配達…自社の車両で直接運搬した場合

2. 営業用直送配達(チャーター便)…輸送業者の車両をチャーター手配した場合

3. 営業用路線経由…輸送業者の陸上輸送路線便を利用した場合

輸送経路に航空輸送が含まれる場合は「4. 航空機経由(国内)」あるいは「5. 航空機経由(海外)」、船舶輸送が含まれる場合は「8. 船舶経由」、鉄道輸送が含まれる場合は「7. 鉄道経由」を選択してください。

郵便局に輸送を依頼した場合は「6. 郵便経由」を選択してください。

g. 「輸送業者(系列)」欄

貴施設で輸送を手配された運送業者名について、それぞれ当てはまる項目を選択してください。「7. その他」を選択された場合カッコ内に運送業者名をご記入ください。なお、輸送手段の種別が1. 自家用車直送配達の場合は回答不要です。

h. 「発地(国内)の都道府県名」、「着地(国内)の都道府県名」欄

例:東京の事業所から福岡の事業所に納入した場合

発地の都道府県名:東京都、着地の都道府県名:福岡県

i. 輸送物の個数

複数回の輸送で、上記bからhまでの内容が全て同じ場合は、輸送物の年間合計梱包数(例:段ボール箱単位)を1枚の調査票にまとめて記入してください。

j. 放射線防護計画

放射性同位元素等車両運搬規則第15条の3に規定されている「放射線防護計画」を定めているかを選択してください。

k. 教育及び訓練

放射性同位元素等車両運搬規則第15条の4に規定されている「教育及び訓練」を行っているかを選択し、行っている場合はその頻度を記入してください。また、他の機関の講習等を受講している場合は、その講習会について記入してください。

l. 輸送に関する防護措置

放射性同位元素等車両運搬規則の改定により、同規則第16条の2に特定放射性同位元素の運搬に係る措置等が追加され、令和元年9月1日から適用されています。

そこで特定放射性同位元素を輸送している場合は、輸送物の型式別に、強化セキュリティ輸送物および基礎的セキュリティ輸送物の年間合計輸送個数を記入してください。

また、強化セキュリティ輸送物を輸送している場合は、同条第7号に規定された「緊急時対応計画」及び同条第8号に規定された「情報管理要領」を定めているかどうかを選択してください。

特定放射性同位元素の輸送実績がない場合は、「輸送実績なし」を選択してください。

m. 輸送に従事する者の被ばく管理

我が国では、輸送に従事する者の被ばく限度を年間1mSvとしています。そこで、放射線業務従事者以外の者で輸送に従事する者の被ばく管理を行っているかを選択してください。また、年間1mSvを超えた方がいる場合は、その人数をご記入ください。

2. 調査票提出期限

令和8年2月20日(金)まで

3. 本調査に関するお問合せ先

請負者:公益財団法人原子力安全技術センター

「令和7年危険物等(放射性同位元素)輸送実態調査」担当 阿南

TEL:03-3814-7482

FAX:03-3813-4630

eメール:ri-unpan@nustec.or.jp

#### 4. 調査票のダウンロード

調査票(Excel)は、公益財団法人原子力安全技術センターのホームページよりダウンロードできます。

HPアドレス : <https://www.nustec.or.jp/ri-yusou/ri-yusou01.html>

#### 5. 調査票の送付先

請負者:公益財団法人原子力安全技術センター

「令和7年危険物等(放射性同位元素)輸送実態調査」担当 宛

所在地:〒140-0011東京都品川区東大井2丁目13番8号ケイヒン東大井ビル7階

TEL:03-3814-7482

FAX:03-3813-4630

eメール: ri-unpan@nustec.or.jp